

掲示板

研究会・研修会等への

報告者・講師の派遣

(平成29年7月～9月)

振興と農村開発」

主催 JICA北海道国際セン

ター

とき 平成29年7月17日

テーマ 日本における農産品の流

通

講義 飯澤理一郎

(当研究所・所長)

主催 JICA北海道国際セン

ター

とき 平成29年8月8日

テーマ 北海道における地域開

発・振興の展開

講義 飯澤理一郎

(当研究所・所長)

テーマ 農業経営の特徴と農産

物・生産資材の流通の仕

組み

講義 飯澤理一郎

(当研究所・所長)

○「アフリカ地域アグリビジネス
振興と農村開発」

主催 JICA北海道国際セン

ター

とき 平成29年7月24日

テーマ 北海道における農業改良

普及事業の現状とこれま

での歩み

講義 黒澤不二男

(当研究所・顧問)

○「農民参加による農業農村開発
(Cコース)」

主催 JICA北海道国際セン

ター

とき 平成29年7月19日

テーマ 北海道における地域開

発・振興の展開

講義 飯澤理一郎

(当研究所・所長)

○「農民参加による農業農村開発
(Bコース)」

主催 JICA北海道国際セン

ター

とき 平成29年8月16日

○「平成29年度大日本農会北海道
支会総会」

主催 大日本農会北海道支会

とき 平成29年7月28日

○「日本農業市場学会二〇一七年
度大会」(若手県盛岡市若手大
学)

主催 日本農業市場学会

とき 平成29年7月1～2日

テーマ 北海道の酪農経営におけ
る労働力問題に関する一

考察

個別報告 山口 和宏

(当研究所・専任研究員)

○「アフリカ地域アグリビジネス
(Bコース)」

○「農民参加による農業農村開発
(Bコース)」

テーマ 期待されるシルバー世代
講演 黒澤不二男

(当研究所・顧問)

○「一般社団法人 北海道地域農業研究所 自主研究研究会 講演」

主催 一般社団法人 北海道地域農業研究所

とき 平成29年9月5日

テーマ 農業改良普及事業の足取りと生活改善指導

話題提供 黒澤不二男

(当研究所・顧問)

○「平成29年度豆類需給安定会議・豆類産地懇談会・豆類生産流通懇談会」

主催 公益社団法人 北海道豆類価格安定基金協会・一般社団法人 全国豆類振

興会・北海道豆類振興会

とき 平成29年9月26日

テーマ 雑豆の消費拡大方策を考える

コーディネーター 黒澤不二男

(当研究所・顧問)

農協とともに歩んだ

太田原 高昭 氏 (当研究所顧問・元所長) が

8月11日に逝去されました

謹んでお悔やみ申し上げます。

北大農学部卒・大学院農学研究所博士課程単位取得農学博士、北海道大学 大学院農学研究科長・農学部長・評議員。北大退官後、北大名誉教授、北海道大学教授、生活協同組合コープさっぽろ会長理事、北海道知事顧問、日本協同組合学会会長など数多くの要職に就任しておりました。平成16年～平成21年まで当研究所の所長、退任後は顧問に就任。



【平成27年5月27日 参議院農林水産委員会
農協法改正案に反対意見を陳述した太田原高昭氏】
「地域と農業」第98号よりコピー

◆酪農学園大の柳教授による米韓FTAの講演を収録。米韓FTAは国民を豊かにしていない。だが、韓国は諦めない。市民は学校給食施策がISDSの対象外と突きとめ、米韓の官僚のメール公開に成功。政府は南北平和を目論んで米韓FTAを結び、再交渉では農業・中小企業へのてこ入れのためにISDSの廃止を要求。「希望を失えば農業は激減するが、FTAもTPPもいずれ破綻するから悲観する必要はない」とも。

◆生乳制度改革と日EU・EPA大筋合意の酪農への影響について、

DATA FILE

関連事項 / DATA

北海道大学 大学院農学研究院
〒060-8589
札幌市北区北9条西9丁目
☎ 011 (716) 2111

JFEエンジニアリング株式会社 北海道支店
〒060-0001
札幌市中央区北1条西3丁目2番地 井門札幌ビル
☎ 011 (271) 2211
Fax 011 (271) 2218

よつ葉乳業株式会社
〒060-0004
札幌市中央区北4条西1丁目1番地
☎ 011 (222) 1311
Fax 011 (221) 0812

酪農学園大学
〒069-5801
江別市文京台緑町582-1
☎ 011 (386) 1111
Fax 011 (387) 6092

清水町役場
〒089-0192
上川郡清水町南4条2丁目2番地
☎ 0156 (62) 2112
Fax 0156 (62) 5116

一般社団法人 北海道地域農業研究所
〒060-0806
札幌市北区北6条西1丁目4番地2
ファーストプラザビル7階
☎ 011 (757) 0022
Fax 011 (757) 3111
HP: <http://www.chiikinouken.or.jp>
E-mail: office47@chiikinouken.or.jp

北大の清水池講師が解説。乳製品の輸入増で、価格低下と国内生産の後退は避けられない。将来、「既存政策の大転換」が必要に…。だが、為替相場は変動し、米国も黙っていない。悲観も楽観も禁物。酪農経営安定への当面の重要事は「共販体制と関税水準の維持」だ。

◆力強い北海道農業の構築に向け
の第三回は、三七年間、札幌の農業行政に携わった三部英二さん。「世界の大都市で農業再現の取組み起こりつつある。札幌市民・消費者が農業に携わり農的な生活を楽しむ。それが北海道農業のよき応援団になっていく」。都市農業の未来と役割を示していただいた。

◆農協と歩んだ太田原高昭北大名誉教授が亡くなった。「緊張を強いられる場には正装で臨む」「抽象画を描く0画伯の風景画は構図が良い」など服装から絵画まで博識な総合農協論者でした。ご冥福をお祈りします。

(入江 千晴)